

和室が寒い…そんなご相談から

畳の新調（入替）＋ プチ断熱リフォーム をご紹介！

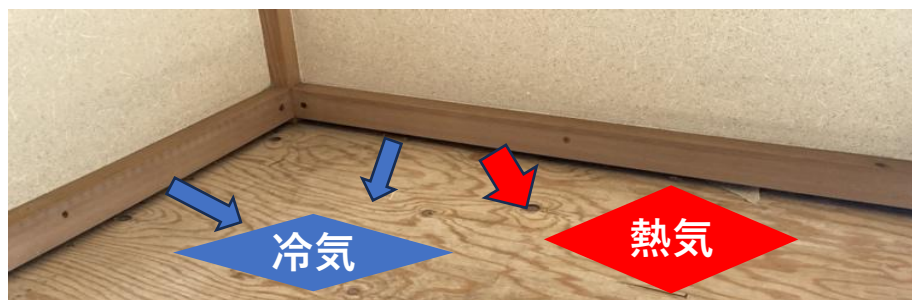
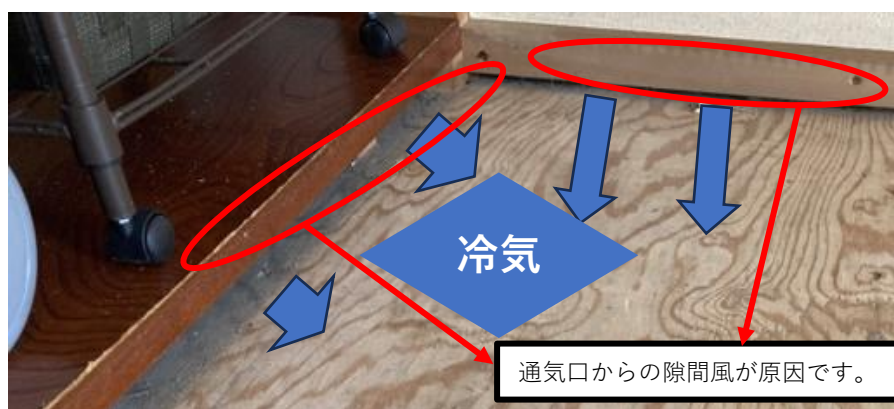
畳はフローリングと違い、寒くないのでは？

→原因は、通気口からの隙間風にありました！

木造住宅の多くは、構造上部屋の床周りが床下とつながっています。

畳と壁際は隙間がないように思われますが、見えないような隙間から

冬は冷えた空気が流入してきます。



この隙間が

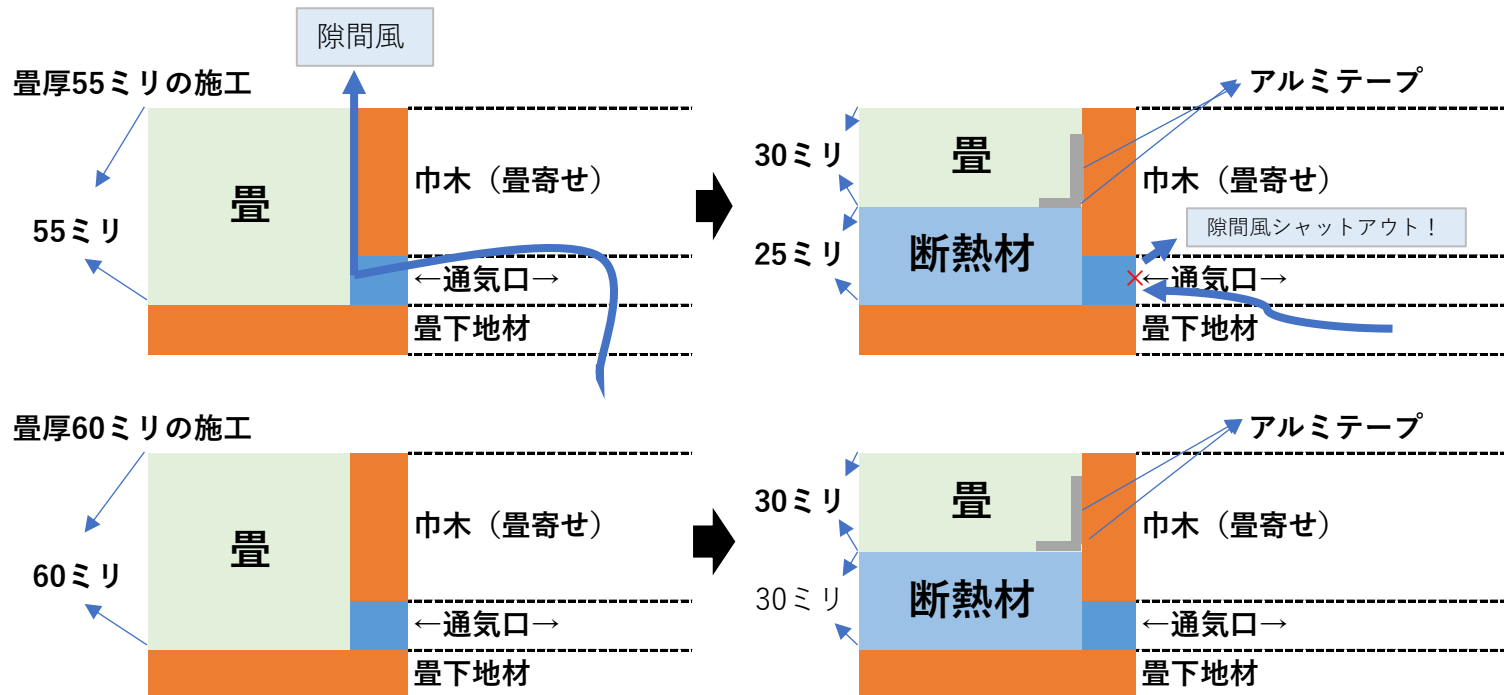
【冬】 暖房効率の低下（隙間からの冷氣の流入）

【夏】 冷房効率の低下（隙間からの暖気の流入、冷氣の流出）
の原因になっています。

お客様からは、冷暖房の効率を妨げている原因を取り除きたく、
風よけシートの施工を希望されておりました。

暖房効率、冷房効率を上げるには、「気密」が重要な要素になっています。
（最近のZEH（ゼロ・エネルギー・ハウス）は気密がしっかりしています）

そこで風よけをし、且つ断熱機能をより向上させることで、より暖かい和室になります。
 今回は「風よけ+断熱」の提案をさせていただき、施工させていただきました！



【施工ポイント】



高さのある壁際の隙間は
 「スタイロフォーム」を
 カットして通気口を埋めました！

その上で、スタイロフォームを前面に隙間なく敷き込み、
 目地に通気止めとしてアルミテープを貼り、施工しました。



スタイロフォームの目地、そして壁際、柱廻りもしっかりとアルミテープを貼り施工しました。

隙間風がなくなると、底冷え低減に効果があります。

（床面直上の温度と室内温度の差が少なくなるため）



最後はこんなにきれいになりました。

今回は畳下地に畳の中にも入っている「スタイロフォームTM（畳芯材用断熱材）」を施工しました。

（一般に販売されている「スタイロフォームIB」より断熱性能が10%以上高い断熱材です）

日本の木造住宅は個別空調が多いので、

和室だけのプチ断熱リフォームも一度検討してみてください！

※畳表は和紙・樹脂・ReFaceなどカビが発生しにくい製品をお勧め致します。

隙間を埋める事でイ草製品などはカビが発生する可能性があります。

（イ草ご希望の方はナノプラチナ加工や絢葉など防カビ加工製品もございます）

いろいろと見本もございますので、是非ご相談ください。

2025年3月26日

株式会社 クラナミ